

## 1. 平成29年度事業計画及び収支予算について

### 【基本方針】

#### (1) 自主的参加

会員の皆様の積極的なご努力とご協力により設立30周年を迎えた工業会は、次の新たな10年に向かって歩み始めました。記念式典でもお話がありましたように、30年前とは、周りの環境も大きく変化しております。現状の様々な社会状況を踏まえながら新しいコンセプトを皆さんで考えていく必要があります。

魅力ある工業会にするためには、まず会員企業の皆さんが委員会活動等を通して、工業会活動に積極的に参加していただくことが大前提であります。様々な連携は、やはり直接お会いしてお話をするところから始まります。

#### (2) 財政基盤強化

次に、現状の工業会の財政基盤は、各種の受託事業の費用に負うところが多く、それらの受託事業は、期限のある事業ゆえ長期に継続はできません。基本的には、受託事業がなくても、赤字にならないような財政基盤づくりが今後必要とされております。

#### (3) 様々な連携の模索

さらに、大震災を通して、被災者でもある我々は、周りと連携していくことの大事さを痛感いたしました。絆とか連携という言葉で言われておりますが、少子高齢化や事業承継者不足などの問題も一人で解決することは難しくなっております。産学連携につきましても、より具体的な連携事例を増やしていこうと考えております。

こうした3つの方針を基本に、今年度も会員の皆様と知恵を出し合いながら、工業会活動をより活性化してまいります。

### 【会員増強】

当面の目標は、正会員400社ということで進めており、キャンペーン等も行っておりますが、大幅な増加はなかなか望めません。事務局としては、小まめに勧誘を行ってまいりますので、会員の皆様のご紹介を是非お願いいたします。

昨年行ったキャンペーンにつきましても、今年度も継続したいと思います。

### 【委員会活動】

#### (1) 政策委員会

県も新しい副知事に交代することから、副知事懇談会を期の早い段階で開催し、工業会の状況の報告や、新たな事業の検討を行いたいと思います。また、若手経営者部会の発足と、ビジネスマッチング部会の活動をバックアップしてまいります。新たな受託事業については、行政等との意見交換を積極的に進めてまいります。ビジネスマッチング部会、女性部会、若手経営者部会のフォロー委員会。

## (2) 総務委員会

定時総会に向けての準備と、規程類の追加修正を従来通り検討してまいります。会員増強については、新たな方策も検討したいと思います。財政基盤強化については、今後の工業会の方向性を検討、確認しながら、全体的視点に基づき検討してまいります。

## (3) 交流推進委員会

産学官交流大会等をより実りあるものにすべく、内容についても会員企業からの意見を集約しながら進めてまいります。また、レクレーシヨンの交流についても会員企業の意見を吸い上げながら検討してまいります。

## (4) 技術交流委員会

例年通り、県内・県外企業見学会を開催し、それぞれの分野で優秀な企業を見ていただきます。新しい材料や技術の紹介、検討についても、産学連携とも絡めながらも積極的に挑戦してまいります。みやぎ優れMONO実行委員会のフォロー委員会。

## (5) 情報委員会

年2回の機関誌の発行を継続いたします。より閲覧してもらえる工業会のHPを目指し、会員からの意見、情報を取りながら委員の皆さんと意見交換をしてまいります。新規会員のみならず、より多くの会員企業と接点を持つべく、企業紹介コーナーを再開したいと思います。

## (6) 経営基盤委員会

当面の大きな問題は、人材の確保・育成ゆえ、工業会としてどういう取り組み、支援ができるか委員会で検討してまいります。今後の電力問題に関しては、引き続き委員会で検討して参ります。プロフェッショナル人材戦略拠点のフォロー委員会。

## 【受託事業】

### (1) みやぎ優れMONO発信事業

昨年度は、優れMONO実行委員会からの委託を受け受託事業として継続いたしました。応募企業は15社、認定企業は6社にのぼり、年々認知度も上がってきております。新年度は、実行委員会の予算が少なくなっているため、人員を縮小し活動は従来通り継続する予定でおります。

### (2) プロフェッショナル人材戦略事業

人材確保が重要な課題になる中、その対策の一翼を担うべく活動していただき、新年度はさらに予算を増加(1000万円増)させ、今後工業系のみならず、第3次産業等の新たな領域にも活動を広げていただきます。

## 【平成29年度収支予算案】

工業会の予算自体が、受託事業に影響を受けるという点は、基本方針のところでも問題視しましたが、新年度は、プロフェッショナル人材戦略拠点事業に関する予算が、今

年度より多くなる予定です。一方みやぎ優れMONO発信事業は、人員を縮小するため、予算は減少しますが、工業会全体としては増加し、全体として黒字予算となります。そのほかの工業会本来の事業については、今年度とほぼ同じ内容にて進めてまいります。なお、石巻地区の支部化の問題も検討中であり、会員数につきましては流動的ではありますが、20社入会、10社退会という予算を立てております。